

2017年度 小松仏青活動テーマ 『私が仏教を聞く。私を仏教に聞く。』

私たち僧侶は内向きで閉鎖的だと批判されてきました。

しかし、私の現実には内向きですらありません。宗門や教区に関心がなく、お寺の存在意義も考えない。教義や儀式、歴史などもわかっていない。そして何より、仏教を聞いているつもりで聞いていません。

これからの仏青で大切にしたいことは、まず「私が仏教を聞く」こと。そして、それをきっかけとして「私を仏教に聞く」ことです。それは、他の誰かではなくこの私が仏教を聞き、私とはどのようなものなのかを仏教に聞いていく、ということです。

そのことを念頭に置いて、皆さんと様々な活動をしていきたいです。

ぶつせい

No.4

公開学習会

門徒が寺に望むこと

2017年9月15日、中田郁夫さんをお招きし、公開講座を行いました。小松教区のみならず、大聖寺・福井・京都教区などからのご参加もあり、僧俗あわせ50名の方と共に考えることができました。

ご講師の中田さんは、十二日講門徒会会長(当時)であり、全国のご門徒の代表でつくる参議会の議員でもあります。「私たちはご門徒の声を真剣に聞いてきたのか」という問いから今回、中田さんにお話いただきました。

中田さんは、「門徒が寺に望むこと」を4点あげられました。

①「寺院消滅」の危機のなか、僧侶はどう考え、行動するのか。

②法話力をつけてほしい。お経の解説ではなく、なぜ教えが説かれたのか、聞いた人がどうなるのかをわかりやすく。

③小松教区の特徴は、相続講やお講を門徒が運営していることだが、その維持が難しくなってきた。僧侶も協力してほしい。

④教区改編について、教化の体制を守るため早めの対策が必要。発展的な議論を進めていくべき。

これらの問題提起をふまえ、参加者の皆さんと①②について話し合いました。お寺や僧侶のあり方を問う声や「逆にお寺が門徒に望むことは何なのか」というご門徒からの問いかけもあり、活発な意見交換ができました。

中田さんや参加者の皆さんから感じたのは、仏教を受け伝えることへの情熱と危機感です。それは、中田さんの「門徒の寺離れを防ぐには、門徒が信頼できる僧侶一人を育てあげること」という一言にこめられていると感じました。



仏青づくり研修会

3月6日、7日の1泊2日で、仏青づくり研修会 in 吉崎別院が開かれました。これは、仏青同盟(真宗大谷派の関係団体)が、「ふたりからはじめる仏青」を願いとして開いたものです。小松仏青はテーマづくりをはじめ、スタッフとして協力しました。

テーマは「人とであう」。人とのであいであいとしていくのか、とくに身近な人との関係を問い直すことが願いです。

この研修会では講師を立てず、参加者同士の座談を中心にしました。



初日は、小松仏青前会長であり仏青同盟常任委員の佐竹融さんから問題提起をいただき、それうけて5班に分かれて座談をしました。夕方には、仏青活動をされている6名の参加者のパネルディスカッションもあり、活動の手がかりになりました。

二日目は、引き続き班に分かれて座談をしたあと、全体会でひとりずつ感想を言い合いました。

印象的だったのは、僧侶以外の参加者とのであいでした。「寺はどんな場所なのか」「僧侶はどうあるべきか」「仏教青年とは何なのか」などを改めて考えるきっかけとなりました。

全国から集まった40名と濃い時間をともにすることができました。

教団問題学習会

教団問題に学ぶ①

2月26日、27日の2日間にわたって、『教団問題に学ぶ』をテーマに学習会を行いました。

仏青では、昨年度から教団問題の学習をつけています。今回は、昨年4月に東京でお話をお聞きした小林潤一師に改めてお話いただきました。



小林師は小松生まれ。教団問題の初期から関わり、31歳からは宗務役員として要職を歴任。現在は東京教区願龍寺住職。

とくに印象深かったのは、小松では僧俗ともに聞法する活動が盛んだったことから、全国の教団問題の取り組みを小松が引っぱってきたことです。その小松の活動は、のちの新宗憲の願いである、「同朋社会の顕現」「宗本一体」「同朋公議」に通じるものでもあったそうです。

小林さんには、詳細なレジュメだけではなく、年表や関係図も作っていただき、関わった人しか知りえない貴重なお話を知ることができました。

教団問題学習会 教団問題に学ぶ②

4月10日、「教団問題に学ぶ」をテーマとした学習会を行いました。

ご講師を本山元堂衆の管生考純師にお願ひし、親鸞誕生800年法要、大師堂爆破事件、分裂報恩講などについて、現場を見てきた人しかわからない当時の状況についてお話しいただきました。

仏青会員以外の参加者が多く、20名の方と学ぶことができました。



第1回 法話学習会

法話を考える

6月18日、僧侶を対象にした法話学習会を行いました。

「法話をするのは苦手…」と感じながらも、その悩みを相談する場がなかなかありませんでした。そこで今回、参加者で「法話の悩み」を出し合い、その「原因」と「解決策」を考えました。

それぞれが同じように課題を感じながら法話をしていること、いろいろな視点があることを知ることができました。

法話学習会は、今後も予定していますのでぜひご参加ください。



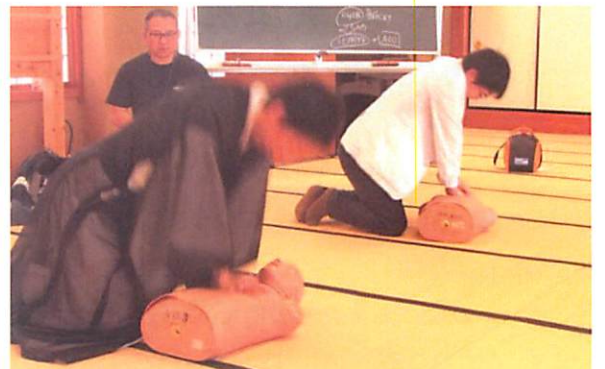
応急処置講習

in 小松教務所に参加

6月18日、教務所員のみなさんと
応急処置講習を行いました。

小松市消防本部の指導員から、胸骨
圧迫やAEDの使用法、熱中症やケガ
人への対処法など、応急処置の基本を
学びました。

行事の最中、参加者にトラブルが起こったときに「どう動くべきか」をみんなで作るきっかけになりました。



フェイスブック はじめました

活動のおしらせや報告をしていきます！

ご覧になりたい方は、

『小松仏青』で検索か、

右のQRコードを読み取り
ください。



施設法話

小松仏青では、かねてより介護老人福祉・保健施設のご依頼を受けて仏青会員を中心に派遣し、お参りと法話をさせていただいています。

湯寿園

第3火曜日 午後2時30分

グリーンポート小松

第3水曜日 午後2時15分

レイクサイド木場

第3木曜日 午後2時30分

新企画

同朋新聞を読む会

人の集える場がほしいと思います、今年7月1日からスタートします！

『同朋新聞』を読みながら、気になったことや日頃の悩み、宗門の動向などについて語り合えればと思います。

実験的な企画ですが、興味のある方はお気軽にご参加ください！

日時 毎月第1日曜

午後7時30分～9時

会場 光玄寺（小松市串町）

小松大谷高校

文化祭に出店



2017年は前年より涼しく、過ごしやすい気候での出店となりました。アイスフロートの売れ行きは今までとつてでしたが、何度も買いに来てくれる優しい学生さん達もいました！

「トッピングが豊富で美味しいし、穴場ですね！」の感想が嬉しい反面：アピール面の課題を感じた文化祭でした。



北陸連区

ソフトボール大会

2017年度の連区のソフトボール大会は、金沢市にある専光寺グラウンドで開催されました。

今年は参加した教区は減ったものの、参加人数が増えたため、昨年のように他教区との合同チームではなく小松と大聖寺のメンバーだけでチームを組んで参加することができました。

昨年に続き今年も優勝を目指して奮闘しましたが、初戦で勝ちを逃し3位という結果になりました。

事前の練習会や大会当日も皆さん楽しそうにプレーしていたので、興味のある方、来年の優勝に向けてお力添えを願う方のご参加をお待ちしています！



仏青報恩講

1月26日、仏青報恩講を執り行い、勤行のあとは参加者で座談を行いました。

座談のお題はくじ引き形式で決めました。参加者一人ひとりが座談をしたいテーマを紙に書き、それをくじにして引いていきます。「今年の抱負」「愛」「法話で心がけていること」など、様々なテーマで話し合いました。この方法の良い点は、参加者それぞれの関心のあるテーマで話し合えるところです。

思っていた以上に盛り上がり、その後の懇親会でもくじ引きをして話し合いました。

編集後記

ご協力、ご参加いただきました皆さんありがとうございました。

2017年度は役員が改選され、会長は和楽、副会長兼会計は面さん、事務局は松永さんになりました。そして、前会長の佐竹さんには相談役についていただきました。

この一年の活動は、私たちの抱える悩みを出発点としています。だからこそ、「聞いただけ」「やっただけ」で終わらせてはいけないと改めて感じています。 和楽